


結核転帰届

令和 年 月 日

患者氏名		性別	男・女	生年月日	大 昭 平 令	年 月 日 生																																																				
住 所																																																										
病 名	肺結核 ・ その他の結核()																																																									
治療終了(中断)日	年 月 日																																																									
転帰理由	治療終了 ・ 治療放棄 ・ 居所不明 ・ 転院 ・ 転症(疾患名:) 死亡(結核死 ・ 結核外死) ・ その他()																																																									
<p>1 最終胸部レントゲン撮影結果(年 月 日 撮影)</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>学会分類</p> <table style="border: none;"> <tr> <td>r</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>I</td> <td>II</td> <td>III</td> <td>IV</td> <td>V</td> <td></td> <td>O</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H</td> <td></td> <td></td> <td>p0</td> <td></td> <td></td> <td>Op</td> </tr> </table> </div> </div> <p>2 最終菌検査結果(年 月 日 施行)</p> <p style="margin-left: 20px;">塗抹 (G 号) 又は (- ± 1+ 2+ 3+)</p> <p style="margin-left: 20px;">培養 (- + 検査中)</p> <p style="margin-left: 20px;">検体 : 喀痰 ・ その他()</p> <p>3 耐性検査結果(年 月 日 施行)</p> <table style="width: 100%; border: none; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 20%;">INH(0.2)</td> <td style="width: 15%;">感受性</td> <td style="width: 15%;">耐性</td> <td style="width: 50%;">その他</td> </tr> <tr> <td>INH(1)</td> <td>感受性</td> <td>耐性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RFP(40)</td> <td>感受性</td> <td>耐性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SM(10)</td> <td>感受性</td> <td>耐性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>EB(2.5)</td> <td>感受性</td> <td>耐性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PZA</td> <td>感受性</td> <td>耐性</td> <td>未施行</td> </tr> </table> <p>4 連絡事項(今後の経過観察の予定, 合併症の治療等をご記入ください)</p>							r		0				b	I	II	III	IV	V		O	1			2			3	H			p0			Op	INH(0.2)	感受性	耐性	その他	INH(1)	感受性	耐性		RFP(40)	感受性	耐性		SM(10)	感受性	耐性		EB(2.5)	感受性	耐性		PZA	感受性	耐性	未施行
r		0				b																																																				
I	II	III	IV	V		O																																																				
1			2			3																																																				
H			p0			Op																																																				
INH(0.2)	感受性	耐性	その他																																																							
INH(1)	感受性	耐性																																																								
RFP(40)	感受性	耐性																																																								
SM(10)	感受性	耐性																																																								
EB(2.5)	感受性	耐性																																																								
PZA	感受性	耐性	未施行																																																							

茨城県古河保健所長 殿

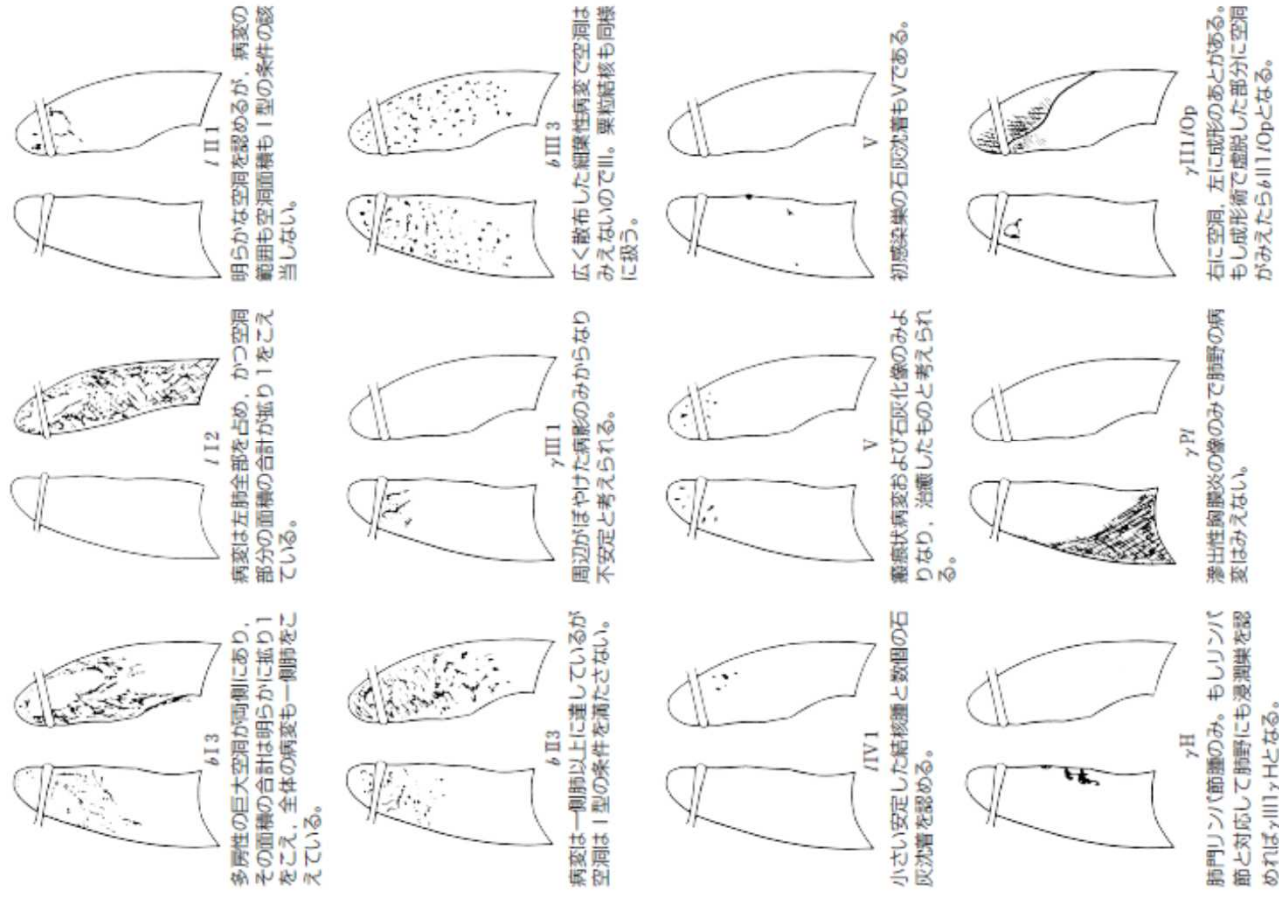
病院所在地

病 院 名

医 師 名

学会分類 (日本結核病学会病型分類)

学会分類の例示



a. 病巣の性状

- 0：病変が全く認められないもの
- I型 (広汎空洞型)：空洞面積の合計が拡り1 (後記) を越し、肺病変の拡りの合計が一側肺に達するもの。
- II型 (非広汎空洞型)：空洞を伴う病変があって、上記I型に該当しないもの。
- III型 (不安定非空洞型)：空洞は認められないが、不安定な肺病変があるもの。
- IV型 (安定非空洞型)：安定していると考えられる肺病変のみがあるもの。
- V型 (治癒型)：治癒所見のみのもの。

以上のほかに次の3種の病変があるときは特殊型として、次の符号を用いて記載する。

- H (肺門リンパ節腫脹)
- PI (滲出性胸膜炎)
- Op (手術のあと)

b. 病巣の拡り

- 1：第2肋骨前線上縁を通る水平線以上の肺野の面積をこえない範囲。
- 2：1と3の中間。
- 3：一側肺野面積をこえるもの。

c. 病側

- r：右側のみに病変のあるもの。
- l：左側のみに病変のあるもの。
- b：両側に病変のあるもの。

d. 判定にさいしての約束

- i) 判定にさいし、いずれに入れるか迷う場合には、次の原則によって割り切る。
 - IかIIはII, IIかIIIはIII, IIIかIVはIII, IVかVはIV
- ii) 病側, 拡りの判定は、I～IV型に分類しうる病変について行い、治癒所見は除外して判定する。
- iii) 特殊型については、拡りはなしとする。

e. 記載の仕方

- i) (病側)(病型)(拡り)の順に記載する。
- ii) 特殊型は(病側)(病型)を前記の記載の次に付記する。特殊型のみときは、その(病側)(病型)のみを記載すればよい。
- iii) V型のみときは病側, 拡りは記載しないてよい。

6I3 多房性の巨大空洞が両側にあり、その面積の合計は明らかに拡り1をこえ、全体の病変も一側肺をこえている。

6II1 病変は一側肺以上に達しているが、空洞はI型の条件を満たさない。

6II2 病変は五肺全部を占め、かつ空洞部分の面積の合計が拡り1をこえている。

6III1 周辺がぼやけた病影のみからなり不安定と考えられる。

6III3 広く散布した網膜性病変で空洞はみえないのでIII。粟粒結核も同様。

6IV1 小さい安定した結核腫と数個の石灰沈着を認める。

6V 初感染の石灰沈着もVである。

6VI 肺門リンパ節腫のみ。もしリンパ節と対応して肺野にも浸潤巣を認めれば6VIIとなる。

6VII 滲出性胸膜炎の像のみで肺野の病変はみえない。

6VIIp 右に空洞、左に成形のあとがある。もし成形前で虚脱した部分に空洞がみえたら6VIIIとなる。